

第 42 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	高ゼミⅡ	チーム名	高点
タイトル	日本エレクトロニクス産業の展望		
テーマ群	d)国際経済 e)産業・企業		
メンバー	佐藤啓太 稲原弘貴 加藤里佳 北尾彪馬 杉本真衣 新田亜梨香 馬部真也 福井文 圓尾麻衣 朝比奈美郷 奥村茉以子 米勢敦 杉本雅章		
研究計画内容	<p>一株当たり 151 円。みなさんはこれがどの企業のものかご存知でしょうか？これは今年の 10 月 9 日にシャープがつけた過去最安値の金額です。ちなみに今年の 1 月 4 日では一株当たり 670 円です。このほかにもソニーも年初めから 500 円近く、パナソニックも同様に 160 円近く値を下げています。</p> <p>このような状況に陥った原因の 1 つとして海外企業、特に韓国のサムスンや LG 電子の躍進があります。今回はシャープの現状・対策などを軸に韓国企業の発展なども含めて下記のように発表を展開していきます。</p> <p>まず初めに、シャープの現状としてここ最近の経営状況や抱えている課題について説明していきます。次に前述したサムスンや LG 電子の最近の経営状況や発展についての説明を行います。そしてこの過去最大のピンチにシャープはどのように対処していくのか、その方法と経過についてお話しします。最後にわれわれ学生が学生目線で考える独自の対策について発表します。</p> <p>これらの項目を通して今の日本のエレクトロニクス産業の抱える課題やその対策を発表していきます。そして最近ニュースになった台湾企業のホンハイとの提携についてもふれていきます。ホンハイの実態とは？ホンハイの経営状況とは？ホンハイはどのようにして日本の大企業：シャープと対等以上に提携を行うまでになったのかなどなど。</p> <p>私たちのグループの発表を聞いて少しでも日本のエレクトロニクス産業に興味・関心を持っていただけたら幸いです。</p> <p style="text-align: center;">こう(高)ご期待</p>		